

個人でできるリマニュファクチャリング実践ガイド

— チェックリスト+やさしい解説 —

この冊子は、日常生活の中でリマニュファクチャリング（再製造）を取り入れるためのポイントを、チェックリストとともにコンパクトにまとめたものです。環境負荷を減らしつつ、賢く経済的に暮らすヒントとしてご活用ください。

目次

1. リマニュファクチャリングとは？
2. 関連する用語の違い
3. なぜ今注目されているのか（メリット）
4. 個人でできること（解説付き）
5. 実践チェックリスト（印刷用）
6. マイ・アクションプラン（記入欄）

1. リマニュファクチャリングとは？

使い終わった製品や部品を分解・検査・洗浄・修理・交換・再組立などの工程を経て新品同等の性能や保証を持つ状態に再生する取り組みです。単なる修理や中古販売とは異なり、標準化された工程と品質保証が特徴です。

例：自動車のリビルト部品、再生ノート PC、再生トナー、産業機械の主要ユニット再生など。

2. 関連する用語の違い

用語イメージポイント

リユース（再使用） そのまま再び使う手入れやクリーニング中心。品質保証は限定的。

リペア（修理） 壊れた箇所を直す不具合原因を特定し部分的に復旧。

リファビッシュ（整備済） 動作品を整備・清掃 基本動作保証＋外観補修。新品同等までは求めない。

リマニュファクチャリング～（再組立） 分解～再製造で新品同等へ 工程と検査が標準化。保証やトレーサビリティが明確。

※ 用語の使い分けは分野や企業により異なる場合があります。

3. なぜ今注目されているのか（メリット）

- 環境:原材料の採掘・製造工程を大幅に省けるため、資源消費と廃棄物発生を抑制。
- 経済:新品より低コストになりやすく、価格安定や家計負担の軽減にもつながる。
- 安定供給:部品不足やサプライチェーン混乱時の代替供給源として機能。
- 雇用・地域:分解・検査・再組立などの工程が地域の技能・雇用を支える。
- 製品価値の再設計:長寿命化・モジュール化設計(リペアラビリティ)の需要を後押し。

4. 個人でできること

▶ 購入時の工夫

- リマニュファクチャリング製品の選択肢を探す(例:リビルト部品、整備済 PC、再生トナー)。
- 修理しやすい製品・長期保証・下取り制度のあるメーカーを優先。
- 所有から利用へ:レンタル・サブスク・シェアで“使い切る”。

▶ 使用中の工夫

- 定期メンテ(清掃・アップデート・消耗品交換)で寿命を延ばす。
- 不具合時はまず修理見積を取り、買い替えと比較。
- 不要になったら保管せず、早めに再流通へ回す。

▶ 手放すときの工夫

- メーカー回収や下取りを活用(品質の高い再生ルートにつながる)。
- 中古買取・フリマ・地域のリユース拠点を利用。
- 家電リサイクルなど法制度に沿った適正処理を。

▶ 学び・発信

- 用語の違いを周囲にシェアして誤解を減らす。
- 良い体験談(価格・品質・サポート)を SNS で発信。
- 学校・職場でエコ活動として紹介。

▶ 趣味・スキル

- DIY で自転車・家具・小型家電の再生に挑戦。
- 電子機器の分解再組立は小型から安全第一で。
- リメイク/アップサイクル作品を地域イベントで展示。

5. 実践チェックリスト

1) 購入時の工夫

- ☐ 新品ではなくリマニュファクチャリング製品を選んだことがある
- ☐ 修理可能性や再生サービスがある製品を優先して購入している
- ☐ 「所有」ではなく「利用」(レンタル・サブスク・シェア)を検討している

2) 使用中の工夫

- ☐ 定期メンテナンス(清掃・アップデート・消耗品交換)で寿命を延ばしている
- ☐ 壊れたときは「買い替え」より「修理」を優先している
- ☐ 不要になったら放置せず、必要な人に譲っている

3) 手放すときの工夫

- ☐ メーカーやショップの回収・下取りを活用したことがある
- ☐ リサイクルショップや中古市場を利用している
- ☐ 自治体や認定業者のリサイクル回収に正しく出している

4) 学び・発信

- ☐ 「リユース」「リサイクル」「リマニュファクチャリング」の違いを理解している

- ☐ 家族や友人に環境配慮の製品やサービスを紹介したことがある
- ☐ SNS でリユースやリマニュファクチャリング事例を発信したことがある

5) 趣味・スキル

- ☐ DIY で家具や自転車などを修理・再生したことがある
- ☐ 電子機器を分解・再組み立てして再利用したことがある
- ☐ 不用品をリメイク・アップサイクルしたことがある
- ☒ 目安:10 個以上チェックできれば、日常でかなり貢献できています。

6. マイ・アクションプラン(記入欄)

直近 1 か月で取り組むことを 3 つ書き出しましょう。期限・担当(自分)・具体的な一歩をセットで。

項目 具体的に何をする? 期限 メモ

1

2

3

フォロー日実施状況を振り返る日を決める

署名:_____ 日付:_____

参考図書

修理する権利: 使いつづける自由へ 単行本 - 2025/4/28

[アーロン・パーザナウスキー](#) (著), [西村伸泰](#) (翻訳)

なぜスマホのバッテリーはすぐ交換できないのか?

短い保証期間、高額な修理費用、交換のできない部品……わたしたちは修理することからますます遠ざけられている。「壊れたら買い替え」へ消費者を駆り立てる資本主義社会には、修理を阻む巧妙なカラクリが隠されていた。そうしたなか、いま米国やヨーロッパで「修理する権利」運動が巻き起こっている。その現状を縦横無尽に分析した決定的入門書。

目次

謝辞

第1章 はじめに

第2章 なぜ修理は重要なのか

修理の経済的効用

修理が環境に及ぼす効果

修理の社会的メリット

第3章 修理の歴史

修理の起源

工業化と互換性

陳腐化の発明

家主と修理法

第4章 修理を阻む戦略

設計と修理可能性

行動を規制する

修理を阻む障壁を設計する

市場の制約

消費者規範

第5章 修理と知的財産

著作権

実用特許

意匠(デザイン)

商標

営業秘密

修理と“進歩”

第6章 修理と競争

アメリカの反トラスト法の基礎

イーストマン・コダックとアフターマーケットの競争

修理市場に対する反トラスト法理論

反トラスト法執行のハードル

ヨーロッパの競争法

第7章 修理と消費者保護

消費者の修理に対する認識

不公正かつ欺瞞的行為

保証

消費者を計画的陳腐化から守る

第8章 修理を再構築する

修理を決断する要因

法を改正する

市場を変える

設計を変える

規範を変える

修理する権利運動

エピローグ

原注

解題 **修理する権利、あるいは私たちの生を取り戻すための抵抗運動(吉田健彦)**

索引